

は、愛知万博の入場券に組み込まれているICタグチップの発明者であり、マスコミにもしばしば登場されています。ICタグチップは128ビットの数字をユニークに記録、その数字を非接触で読み取ることが可能です。商品に取り付けられればレジを無人化でき、物流システムを大幅に省力化できます。また、紙幣に組み込めば真贋の判別が可能になります。しかし、お財布の中身を離れたところから認識してしまうことも可能になってしまうそうです。電子情報技術の詰まったICタグチップの講演に、新入生は興味深く聞き入っていました。

建築同窓会

●修士設計に大江宏賞が発足

建築学科では、近年、修士課程への進学者が急増しており、今年は、学部卒業生の半数にまで達した。建築学科では、建築家を目指す大学院生のレベルアップが緊急の課題であると考えており、修士設計に賞を出すことを検討、同窓会もその趣旨に賛同し、同窓会から受賞メダルと副賞としての30万円を贈ることを決定した。

今年は第1回目として、4月9日小金井校舎マルチメディアホールにて、専任教員と卒業生合わせて13人からなる審査委員による公開審査会が行われた。

最終審査に残った5人が模型、図面、パワーポイントを駆使して作品のコンセプトを力説し、壇上の審査委員による公開審査という緊張感のある審査を経て、林泰寛君のMOBILE ARCHITECTURE PROJECT（災害時や社会的ハンディを持つ人のためのモバイル生活空間の計画）が選ばれた。

立ち見も出る満席の会場を埋めた学生にはインパクトのあるイベントとなった。

同窓会では、副賞の30万円の原資として、大江宏先生の退職記念事業の募金の一部、160万円を用意したが、賞の継続のため維持会員を募っている。

経営同窓会

本年4月23日に開催された定例総会にて、草薙博彦会長（72年卒）、松尾信之副会長（67年卒）、幡野陽子副会長（74年卒）の新体制での活動スタートが承認されました。この総会での出席状況を見ますと、80年卒以降の皆様の出席が圧倒的に少なくなっております。若い世代をいかに取り込むか、が現同窓会の最大の課題です。アイデアでもご要望でも結構ですので、ぜひお聞かせ下さい。今回の総会は2006年4月22日（土）です。

土木同窓会

土木同窓会は、土木学会全国大会にあわせて地区同窓会を開催してきました。平成16年度は名古屋で開催され、東海地区同窓会の筒井会長はじめ地区の皆様のお陰をもちまして、総勢72名の参加者を

得て盛大な地区同窓会を開催することができました。

平成17年の土木学会全国大会は9月7日（水）～9月9日（金）に早稲田大学で開催されます。

今年は東京での開催ですので、土木同窓会として「土木同窓会と恩師の会」を下記のように開催いたします。同窓生の皆様の参加をお待ちしております。詳細のご案内は同封の法士会報をご覧ください。

記

日時：平成17年9月9日（金）

18：00～20：00

場所：ボアソナード・タワー 24Fスカイホール（法政大学市ヶ谷校舎）

会費：7000円

北海道同窓会

寒かった北海道も、よさこいソーラン祭りを終え、気候だけは、夏日に見舞われる初夏を迎えております。冷え切った景気を底上げすべく設けた、サマータイム制度も2年目に入りましたが、成果は今1つです。昨年は、個人的な事情（定年、母の葬儀）で地域同窓会を開催しないで、同窓の皆様にご迷惑をお掛けいたしました。今年は、幹事の豊島君も多忙の中時間が作れそうで、10月1日（土）に同窓会を開催すべく、準備を始めました。石原、宮川先輩から会長を引き継いで5年目になりました。新しいメンバーもなかなか把握できませんが新しい名簿も発刊されましたし、母校の新システムや校友連合会の動きも、やっと全容が判るようになってきました。我々同窓会も、判りやすく気軽に集まれる会として再出発するために、小規模でも良いから一から再構築して、活性化の道を模索していきたいと考えております。この会報を目にした同窓の北海道在住の皆様からの連絡をお待ちいたしております。

橋本 健一（建築66年）

北陸同窓会

●第10回法政大学工学部北陸同窓会開催結果報告について

昨年11月6日（土）に金沢市内のホテルにて、第10回北陸同窓会が開催されました。1984年学部創立40周年記念大会の翌年に北陸同窓会が発足して20年が経ちました。昨年10月の学部創立60周年記念大会に引き続き11月には第10回北陸同窓会の記念大会となりました。金沢21世紀美術館（設計者 妹島和世）の見学会の後、総会では、来賓に工学部同窓会鈴木公夫副会長、校友連合会石川支部稲葉晃幹事の2名をお招きして、第9回同窓会結果報告・第10回同窓会及び事業承認・役員改選承認と続き無事終えました。その後、懇親会に移り会員39名の参加にて、北陸同窓会会長挨拶に始まり、北陸同窓会高田孝之顧問の乾杯の音頭で和気藹々と歓談が弾み参加員の自己紹介・校歌斉

唱・次回幹事県富山会の立浪勝氏の音頭で万歳三唱、同窓会副会長の閉会挨拶等にて解散となった。

（北陸同窓会会長 大島 武）



群馬県同窓会

●創立20周年記念総会迫る

法政大学工学部群馬県同窓会は、故中島義行先生と元山靖世世話役とが発起人となり、1984年9月に準備会が発足、1985年4月に第1回の総会を開催してから、今年の第11回総会で創立20周年になります。

今回この節目を迎えるに当たり、関係役員が昨年の忘年会、今年の新年会等を通じ、協議した結果、本校の絶大なご協力を頂いた中で、本年10月2日（日）高崎ワシントンホテルで、午後1時より記念総会を開催致します。当日は西海工学部長、阿部同窓会長、柳澤高崎校友会長等のご出席を願っています。加えて西海工学部長の記念講演や記念誌発行等も目下計画しております。県内同窓生には近々ご案内申し上げますが、是非とも皆様のご出席を期待申し上げます。

工体連OB会

工体連OB会は、今期の役員改選を行い、10年間務められた阿部鞏会長（柔道66）の勇退と菊池貢一新会長（剣道69）の就任が承認された。副会長には市野彰俊（空手69）、小畑修孝（陸上70）、大島光雄（サッカー72）各OBが留任。

昨年は、工学部の小金井移転40周年の節目にあたり、各部OB会の多くが周年行事を行った。今年度は年2回の会報発行の他に、6月25日の「第10回OB・現役懇談会」、9月10日の「第10回工体連各部OB会対抗ゴルフ大会」、11月5日の「第9回工体連卒業生の集い」（今年度は工学部ホームカミングデーに合流）を中心に活動が予定されている。

尚、本年は「学友会工体連創立40周年」にあたり、9月25日に記念式典等を小金井キャンパスで行うことを決定した。工体連卒業生各位には、万障お繰り合わせのうえ、ご参加戴き、記念式典を盛り上げ、現役諸君を激励して戴きたい。（写真はOB・現役懇談会の一コマ）

